

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）



表紙：タジキスタンの風景

Topics

人事院の行政研修（課長補佐級）国際コースに、JDS留学生3名が参加しました！

▶ 活躍する帰国留学生（タジキスタン）

Noriyon Parviz氏（Varzishテレビ局長）

Qurbanalieva Nigina氏（タジキスタン国立銀行、金融の安定化局長）

▶ ほっとひと息：モルディブ

人事院の行政研修(課長補佐級)国際コースに、JDS留学生3名が参加しました！

2024年2月1～2日の二日間、人事院公務員研修所主催で実施された行政研修(課長補佐級)国際コースに、JDS留学生3名が参加しました。

当コースは、我が国の置かれている情勢に関する認識を深め、所管する分野での対外交渉業務等に携わるための行政的視野、判断力、企画立案能力、交渉力、国際感覚等の向上を図ることを目的とした研修で、省庁に勤務する課長補佐級の職員と民間企業や外国政府関係者が参加しました。

参加したGamaethi Ralalage Harini Seuwandhi Kularathna 氏(国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科、2022年来日、スリランカ)から、感想が届きましたのでご紹介いたします。

—— 研修はいかがでしたか？

日本政府の省庁からの参加者や様々なバックグラウンドを持つ他国出身の参加者と交流する良い機会となりました。

—— キャリア形成のために役に立つことを学ぶことができましたか？

自分の能力開発のために参考となる貴重な洞察や知識を得ることができました。特に受講者も参加する参加型のディスカッションを通して、ダイナミックで興味深い学習の機会となりました。



Gamaethi氏の研修所での様子

—— 研修で一番良かったポイントは何ですか？

関西学院大学の久木田純教授による”The United Nations Competency Framework and its Application” (国連コンピテンシー・フレームワークとその応用)がとても参考になりました。非常に貴重な学習経験となりました。

SINCE 1999



Where
Leaders
are made.



JDS

The Project for
Human Resource Development
Scholarship

JDS Network Newsでは、活躍する帰国留学生を紹介していますが、今回はタジキスタンで活躍する帰国留学生2名をご紹介します。

Noriyon Parviz氏

(立命館アジア太平洋大学大学院アジア太平洋研究科、2015年修了、Varzishテレビ局長)



東京オリンピックにて(中央がNoriyon氏)

日本企業の中ではオリンピック等の放映権を持つ株式会社電通と頻繁に連絡を取っています。日本企業との交渉・調整も、日本留学の経験や日本語(完璧ではないですが)を話すと、スムーズに進みます。

—— JDS留学で身につけたスキルや知識を業務で活用していますか？

2015年に帰国してからは、テレビ局だけではなくサッカー連盟や柔道連盟等のあらゆる業務で、日本留学で得た知識や経験を活用しています。テレビ局では、海外企業やメディアが所有するプログラムの使用権を購入するための交渉や調整に、留学中に研究したWTOに関する知識が役に立っています。

Qurbanalieva Nigina氏

(立命館アジア太平洋大学大学院アジア太平洋研究科、2014年修了、タジキスタン国立銀行金融の安定化局長)

—— 現在の職務内容について教えてください。

タジキスタン国立銀行(中央銀行)にて、同国の金融の安定を監督する局の局長として、国際機関と協力しながら同行の実施するプログラムやアクション・プランの企画と実施を担当しています。

—— JDS留学で身につけたスキルや知識を業務で活用していますか？

JDS留学中に得た知識を、日々の業務にフル活用しています。JDS留学後、2015年に金融政策局の上級ポストに昇格し、金融政策戦略2016-2022の策定に参加しました。この戦略では、新しい金融手法の導入、流動性予測、金融政策に関するコミュニケーション戦略など、インフレーションターゲットという新しい金融の枠組みへの移行に向けた改革を目指しています。



Qurbanalieva氏の執務室にて

JDS留学を通して専門分野について深く学ぶ機会を頂き、大変感謝しています。留学が私のキャリア形成に与えた影響は大きく、自身のキャリア形成はJDS留学抜きには語れません。



今回は、美しい海と白い砂浜が広がる楽園のイメージが強いと同時に、その人口密度の高さでも有名なモルディブのほっとするおやつをご紹介します。美しい島々から構成されるモルディブという国名は、サンスクリット語で「島々の花の輪」という意味の言葉に由来すると言われています。



出典: Lonumedhu ([Handoo Gulha | Lonumedhu](#))

Gulha グラ

グラはモルディブで人気のある一口サイズのおやつで、夜のお茶のお供としても食べられています。米粉で作る「ハンドゥル」、小麦粉で作る「フフ」の2種類があり、一般的にはツナ、擦りおろしたココナッツ、玉ねぎ、チリ、生姜、ライムを詰めて油で揚げます。ヘルシーに作りたい場合は、平らにしてフライパンで焼くこともあるそうです。見た目は甘いドーナツに見えますが、モルディブらしい味付けで美味しそうですね。

Kanamadhu Cake カナマドゥケーキ

カナマドゥケーキは、Sea almond (モモタマナという熱帯地方の植物) としても知られるカナマドゥの種子 (ナッツ) を擦りおろしたもの、卵、小麦粉、砂糖から作られています。これらの材料を合わせた生地を作り焼くと、オープンから部屋中に甘いナッツの香りが漂い、一気に幸せなおやつの時間へと誘われます。濃厚で噛み応えのあるケーキで、パーティーやお祝いでも食べられるそう。生クリームとの相性も間違いなしです。



出典: Lonumedhu ([Kanamadhu Cake | Lonumedhu](#))



出典: Lonumedhu ([Juice Petty | Lonumedhu](#))

Juice Petty ジュース・ペティ

一見綿菓子のようにも見えるジュース・ペティは、モルディブ人に子供の頃から愛されているアイスキャンディーです。主にコンデンスミルク、水、着色料、香料で作られています。暑い太陽の下ビーチで味わうにも、仲間とシェアするにもぴったりのジュース・ペティは、年間平均気温が30℃前後のモルディブに住む人々にとって、暑さを吹き飛ばすのに最高のおやつだそうです。

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

6,030名 22カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2023年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<JDS実施国 (JICE)> ※受入開始年順

ウズベキスタン、ラオス、カンボジア、ベトナム、モンゴル、
バングラデシュ、ミャンマー、フィリピン、キルギス、
タジキスタン、スリランカ、東ティモール、パキスタン、ブータン、
モルディブ、ケニア、セネガル

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、
日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、
様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画 (JDS) は無償資金協力による
JICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

3月といえば、JDSでは最終選考試験のピークを迎えます。日本でも、高校や大学の入学試験の合格発表の時期ですね。JDS実施国では、2月から3月にかけて、現地に於て日本の受入大学の教員による面接試験、運営委員会メンバーによる最終面接試験が行われており、候補者だけでなく、各試験をサポートする現地のJDS担当者たちも大変緊張する時期となります。

日本では合格祈願のために、神社や寺にお参りに行きますが、各国のJDS受験生の合格祈願方法を調べたら興味深いかもしれません。

JDS事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター (JICE)
留学生事業第一部留学生事業課広報担当

E-MAIL: jds.pr@jice.org